

令和元年度 貝塚市全体財務書類【概要版】

資金収支計算書 平成31年4月1日～令和2年3月31日

(単位:百万円)

期首資金残高 (平成30年度末)	3,437
当期(平成30年度)収支	282
1 業務活動収支	3,969
2 投資活動収支	△ 3,375
3 財務活動収支	△ 312
当期(平成30年度)歳計外収支	△ 23
期末資金残高 (令和元年度末)	3,696

貸借対照表 令和2年3月31日現在

(単位:百万円)

資産の部 (市が保有する資産)		負債の部 (将来世代の負担額)	
資産合計	137,297	負債合計	84,439
1 固定資産	129,154	1 固定負債	76,916
① 有形固定資産	125,929	令和3年度以降に支払わなければならない債務	
道路、公園、学校など具体的な形のある固定資産			
② 無形固定資産	3,126	2 流動負債	7,522
ソフトウェア、電話加入権等の具体的な形のない固定資産		令和2年度に支払わなければならない債務	
③ 投資等	98		
文化振興事業団などの団体への出資金や、基金、長期延滞債権など			
2 流動資産	8,144		
現金・預金、財政調整基金、市税等の未収金など			
内 資金残高	3,696		
		純資産の部 (現在までの世代の負担額)	
		純資産合計	52,859

行政コスト計算書 平成31年4月1日～令和2年3月31日

(単位:百万円)

純経常行政コスト	43,538
1 経常費用	54,173
① 業務費用	24,244
業務に必要な人件費や物件費、支払利息、各種引当金の繰入等の費用	
② 移転費用	29,929
補助金やその他の費用など	
2 経常収益	10,636
使用料及び手数料、その他経常経費のみに充当する収入	
臨時行政コスト	2,439
1 臨時損失	175
災害復旧費、固定資産除売却損やその他臨時的な費用	
2 臨時利益	2,264
資産売却益やその他臨時的な収益	
純行政コスト	41,448
経常行政コストと臨時行政コストの合計	

純資産変動計算書 平成31年4月1日～令和2年3月31日

(単位:百万円)

期首純資産残高 (平成30年度末)	50,539
当期(令和元年度)変動高	2,319
1 純行政コスト	△ 41,448
2 財源調達	43,542
税収や国府等補助金など	
3 その他変動	226
有形固定資産や貸付金・基金等の増減及び資産評価差額、無償所管換	
期末純資産残高 (令和元年度末)	52,859

- 本財務書類については、平成28年度より統一的な基準に基づき作成しています。
- 表中金額については、各表間の整合性を調整しているため、本表四捨五入と一致しない場合があります。